

栃木県総合文化センター 狂言シリーズ 第20弾!

初の土曜日開催

狂言

親子三代の共演

万休の会

◆第二十回記念特別公演◆



木六駄 きろくだ

太郎冠者

野村 のむら

万作 まんさく

主 中村 修一
茶屋 深田 博治
伯父 石田 幸雄

後見 月崎 晴夫

昆布売 こぶうり

大名

野村 のむら

萬斎 まんさい

昆布売

野村 のむら

裕基 ゆうき

後見 内藤 連

解説

石田 いしだ

幸雄 ゆきお

(狂言鑑賞講座)



野村 万作 (人間国宝)



野村 萬斎



野村 裕基

日時/平成28年3月26日(土)

開場:午後1時半/開演:午後2時

場所/栃木県総合文化センター(県庁前)メインホール

入場料金(全席指定・消費税込)

SS席 4,800円 S席 4,000円

A席 3,000円 (学生A席 2,000円)

発売開始日 平成27年12月1日(火)

午前10時から下記プレイガイドで取扱い

チケット発売窓口

- 栃木県総合文化センタープレイガイド(午前10時~午後7時)
※お席を確認しながらご予約いただけます。
セブンイレブンでのお支払い・チケットお受取も可能です。
電話予約 028(643)1013
インターネット予約 <http://www.sobun-tochigi.jp>

- 宇都宮市文化会館プレイガイド TEL.028(634)6244
- FKDショッピングプラザ 宇都宮 3F TEL.028(623)5269

主催

公益財団法人 とちぎ未来づくり財団
—青少年の健全育成と県民文化の振興を旨とします—

協力

栃木県謡曲連盟

お問い合わせ

栃木県総合文化センター 文化振興課
〒320-8530 宇都宮市本町1-8 栃木県総合文化センター内
TEL 028(643)1010(平日8:30~17:15)

お願い・お断り

- 就学前のお子様の入場はご遠慮下さい。
- 都合により、出演者等が変更になることがありますので予めご了承ください。
- 会場内では携帯電話の電源を必ずお切りください。
- 会場には駐車場がございません。公共交通機関等をご利用いただくか、周辺の有料駐車場をご利用ください。
※栃木県庁の地下駐車場がご利用頂けます。

狂言 万作の会

あらすじ

昆布売(こぶり)

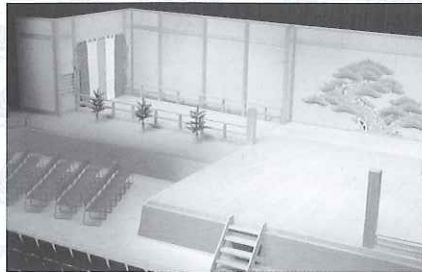
供を連れずに出かけた大名。たまたま通りかかった若狭の小浜の召し(献上)の昆布を売る男を脅し、太刀を持たせて供とする。始めはしぶしぶ従っていた昆布売りだが、大名が油断した隙に太刀を抜き、逆に脅された大名が昆布を売ることになる。物など売ったことのない大名は、昆布売りにさまざまな注文をつけられ…。

昆布売りが太刀を抜くことで強いはずの大名より優位に立つという、中世の下克上の世相を反映した立場の逆転が笑いを誘う狂言です。また昆布の売り声には、浄瑠璃節や踊り節など中世の流行歌謡が取り入れられています。

木六駄(きろくだ)

主人は、山ひとつ向うの都に住む伯父へのお歳暮として、炭を六駄と木を六駄、それ以上等の樽酒を届けるよう太郎冠者に命ずる。雪の降る山中、荷を積んだ十二頭の牛を追い、ようやく峠の茶屋にたどり着いた太郎冠者は酒を所望するが、あいにく茶屋が切らしていたので、届けるはずの樽酒に手をつけ、茶屋と酌み交わすうちに全部飲み干してしまふ。更に酔った勢いで木六駄まで茶屋にやってしまふ、太郎冠者は残りの炭六駄をのせた牛を引いて伯父のもとへ行くのだが…。

降りしきる雪の中、蓑笠をつけ、二本の追竹だけで十二頭の牛を追う太郎冠者の演技が見どころです。また、酒宴の際に酔態で舞う「鶉舞」など、狂言として重厚な構成の中に庶民の生活感情が豊かに描かれた秀作です。



栃木県総合文化センターメインホール特設能舞台

野村万作 (のむらまんさく)

1931年生。重要無形文化財各個指定保持者(人間国宝)。祖父故初世野村萬斎及び父故6世野村万蔵に師事。早稲田大学文学部卒業。「万作の会」主宰。狂言の秘曲である『釣狐』の演技で芸術祭大賞を受賞した他、紀伊國屋演劇賞、日本芸術院賞、紫綬褒章、坪内逍遙大賞、朝日賞、旭日小綬章等多くの受賞歴を持つ。国内外で狂言普及に貢献し、ハワイ大・ワシントン大では客員教授を務める。古典はもとより新しい試みにもしばしば取り組み、代表作に『月に憑かれたピエロ』『子午線の祀り』『秋江』『法螺侍』等がある。著書に『太郎冠者を生きる』(白水社eブックス)、『狂言三人三様・野村万作の巻』(岩波書店)がある。2015年文化功労者顕彰を受ける。



野村萬斎 (のむらまんさい)

1966年生。野村万作の長男。祖父故6世野村万蔵及び父に師事。重要無形文化財総合指定者。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言ござる乃座」主宰。国内外の狂言・能公演はもとより、現代劇や映画の主演、古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞を受賞。著書に『萬斎でござる』『MANSAI◎解体新書』(朝日新聞出版)、『狂言サイボーグ』(日本経済新聞社)、『狂言三人三様・野村萬斎の巻』(岩波書店)等がある。世田谷パブリックシアター芸術監督。



野村裕基 (のむらゆうき)

1999年生。野村萬斎の長男。祖父野村万作及び父に師事。03年、3歳の時に『靉猿』で初舞台後、『伊呂波』『痺』『金津地蔵』『井杭』『重喜』などのシテを勤め、2011年『千歳』を抜く。



石田幸雄 (いしだゆきお)

1949年生。野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。「雙ノ会」主宰。「雙ノ会」で芸術祭大賞、個人で観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞。数多くの優れた舞台歴を持つ野村家の重要な演者。国内外での狂言・能公演に多数参加し、普及に貢献している。新しい試みの舞台にも意欲的な発表が多く、普及公演での的確な解説にも定評がある。「万作の会」の海外公演にもたびたび参加。日本大学芸術学部・学習院大学非常勤講師。



県庁地下駐車場のご利用について

栃木県総合文化センターにお越しのお客様は
土・日・祝日 [9:45~21:30] と平日の夜間 [17:00~21:30] は
2時間まで無料で県庁地下駐車場をご利用いただけます。

直接入庫いただき、入庫の際に発行される駐車券を総合案内(プレイガイド)または管理事務室にお持ちください。
 駐車券に総合文化センターの受付スタンプ押印が必要です。

- 2時間以上ご利用の場合は、30分ごとに150円となります。
- 左記の日時以外は、ご利用いただけませんのでご了承ください。
- 21:30以降は出庫できませんので、ご注意ください。
- 県庁閉庁日はご利用いただけません。(閉庁日は県庁ホームページでご確認ください。)

お問い合わせ 栃木県総合文化センター 利用サービス課 ☎028-643-1000

収容台数400台 ※満車の際はご容赦ください。

